

ソフトバンクグループ社債に見る、個人向け社債の魅力と注意点

●利率1%台の個人向け社債が登場

ソフトバンクグループが、4月に個人向け社債を発行することが決まりました。具体的な条件は4月12日に決定されますが、発行予定額は5000億円、満期(年限)は6年、利率は仮条件で年1.30%~1.90%、額面100万円単位で購入できます。野村証券、大和証券、SBI証券など11社が引き受けて、個人向けに販売します。

円建ての金利商品で1%台の利率は魅力的なので、人気を呼ぶ可能性が高く、購入を希望する場合は取扱い証券会社に早めに申し込む必要があります。申込期間は4月15日~4月25日で、購入代金の払込期日は4月26日となっています。

●個人向け社債とは

会社が発行する債券を社債といいます。社債の中には、株式転換などの権利が付与されているものもありますが、こうした権利が付いていないものを普通社債といいます。普通社債は多くの場合、額面1億円単位で機関投資家向けに発行されますが、額面100万円あるいは10万円といった小口の単位で、個人向けに発行されるものを個人向け社債といいます。

個人向け社債は、発行時に決められた利率に基づいて、毎年、所定の利息が受け取れ(通常は年2回の利払い)、満期を迎えると額面金額が投資家に返されます。額面金額ちょうどで購入でき、満期時には額面金額が戻ってくるので、満期保有を前提とする場合は、基本的に預貯金と同じ確定利回りの商品になります。

●個人向け社債のリスク

債券は、満期前に換金する場合は、時価で売却することになるので、値上がり益、値下がり損が発生します。また、途中換金する場合には、希望通りの価格で売却できないかもしれないという流動性リスクもあります。ただし、満期まで保有すれば、こう

したリスクを気にする必要はありません。

満期保有が前提の場合、最大のリスクは、発行体の信用リスクです。債券に投資するということは、発行体にお金を貸し付けるということの意味ですが、発行体の経営が破綻すると、投資家は投資金額を全額回収できず、大きな損失を被ることがあります。借りたお金を返せなくなって、経営が破綻するからです。

個人向け社債の発行体が破綻した例は極めて少ないのですが、2001年9月には900億円の個人向け社債を発行していた大手スーパーのマイカルが破綻し、投資家は投資金額の30%しか弁済が受けられませんでした(70%の損失を被りました)。

こうした債券の信用度に関するモノサシが格付です。格付は、信用度が高い順に、AAA→AA(Aa)→A→BBB(Baa)→BB(Ba)→B…と表示されます。このうち、BBB(Baa)以上の債券は、元利金支払いの確実性が高いので投資適格債といい、BB(Ba)以下の債券は、元利金支払いの確実性にリスクがあることから投機的等級の債券といいます。

格付の高い債券は安心して買うことができるので、金利は低くても買ってよいということになり、金利は低くなっています。格付の低い債券は、リスクが高いうえに金利まで低ければ誰も買ってくれないので、金利は高くなっています。このため、同時期に発行された同期間の他の債券と比べて金利が高い債券ほど、信用リスクが高いこととなります。

●ソフトバンクグループ社債の金利はなぜ高い?

下に、最近の主な個人向け社債の発行例と、ソフトバンクグループの過去の発行条件を挙げておきました。これを見ると、ソフトバンクグループの個人向け社債は群を抜いて金利が高いことが分かります。

理由の一つは格付が低いからです。JCR(日本格付研究所)の格付では、投資適格のA-となっていますが、S&PはBB+、ムーディーズはBa1と、いずれも投機的等級の格付となっています。また、発行額が極めて大きいため、金利を高めにししないと円滑な販売が難しいという理由もあるでしょう。こうした点を理解した上で、実際に投資するかどうかを決める必要があります。

(4月4日記 クルー 目黒政明)

【2019年1月以降に発行された主な個人向け普通社債】

発行月	回数・銘柄名	発行額	年限	利率	取得格付
1月	120回 東武鉄道	100億円	3年	0.15%	A (JCR)
1月	82回 小田急電鉄	100億円	3年	0.10%	AA- (JCR)
3月	73回 クレディセゾン	100億円	10年	0.48%	A+ (R&I)
3月	196回 オリックス	300億円	5年	0.21%	A+ (R&I)
3月	19回 イオンモール	300億円	5年	0.30%	A- (R&I)

【2014年以降に発行されたソフトバンクグループの個人向け普通社債】

発行年月	回数	発行額	年限	利率	取得格付
2014年5月	45回	3000億円	5年	1.45%	A- (JCR)
2014年9月	46回	4000億円	5年	1.26%	A- (JCR)
2015年6月	47回	1000億円	5年	1.36%	A- (JCR)
2015年12月	48回	3700億円	7年	2.13%	A- (JCR)
2017年3月	51回	4000億円	7年	2.03%	A- (JCR)
2018年6月	53回	4100億円	6年	1.57%	A- (JCR)

※JCR=日本格付研究所 R&I=格付投資情報センター